

令和6年度子ども環境学習交流事業（ラムサールびわっこ大使事業）業務委託  
公募型プロポーザル質問書に対する回答

	質問内容	回答内容
1	仕様書には、本事業に指導的立場から携わる企画運営委員会委員についての記載がありますが、企画運営委員会の開催については記載がありません。企画運営委員会はどのように開催されるのか、また、受託者が企画提案した内容について、県、企画運営委員会委員、受託者の三者間の調整はどのように行われるのか、ご回答願います。	企画運営委員は、本事業に指導的立場から関わっていただくこととしていますが、予め、県との間で調整等を行うこととしており本委託事業において会議を開催することは想定しておりません。
2	積算の参考としたいので、R6年度びわっこ大使の人数を教えてください。	令和6年度びわっこ大使の人数は8名です。
3	「5 業務内容 学習会およびびわっこ大使世代間交流会の実施・運営 <留意事項>b.」に記載されている、11月9日（土）開催の令和6年度近畿「子ども水辺」交流会 in 滋賀 2024の内容を教えてください。もしくは、H25年開催時と同等の内容なのか、ご回答願います。	令和6年度近畿「子ども水辺」交流会 in 滋賀 2024の内容については、別紙資料を御参照ください。 なお、内容は現段階のものであり、今後変更される可能性がありますので、あらかじめ御承知おきください。
4	本仕様書に基づいて企画提案を行い、事業を受託した場合、本事業に指導的立場から携わる企画運営委員会委員からは、「提案者が企画した内容について概ねの同意を得られる」ということで、県と委員の間でコンセンサスがとれているという理解でよろしいでしょうか。	本プロポーザルにおいて採用された企画提案に基づき、事業を実施いただくこととなります。 なお、県と本事業に指導的立場から関わる企画運営委員との間で調整を要する事項が生じた場合は、県と受託者で協議の上、事業内容が変更になることがあります。

令和6年度近畿子どもの水辺交流会について(予定)

※当該資料の内容は、検討段階のものであり、今後の検討の中で変更となる可能性がありますので御承知おきください。

1. 交流会の内容概要

**開催日時:**令和6年11月9日(土)、時間については下記スケジュール参照

**開催場所:**琵琶湖汽船ピアンカ船上

内 容:子ども達の活動発表会、交流会、琵琶湖を感じる体験プログラム

大会規模:子ども150人(定員)、引率者・保護者80人、スタッフ40人、計270人

参加募集:・近畿各地域で水辺に関する活動をおこなっている小中学生の団体・個人

- ・引率者または保護者が同行できること

2. 当日のプログラム案

(1) 子ども達による活動発表(活動内容、発見したこと、気付いたこと、成果など)

- ・ポスターサイズ→A1
- ・経費削減のためポスターはホワイトボードやパーティションに貼らず、プラ段等に貼り、壁やイーゼルスタンドに立てかける形にしたい
- ・発表時間7分、質疑応答8分、計15分/団体×5団体/各会場、計75分
- ・5会場同時進行、最大参加団体数は25団体とする(平均6名/団体、計150名)

(2) 交流会

- ・テーマを決めて子ども達で話し合ってもらおう(2つのテーマ)
- ・先ず小グループで話し合い、その結果を全体で話し合ってみよう

(3) 琵琶湖を感じる体験プログラム案

項目	内容概要	説明担当者	主な準備物	所要時間
① 魚観察	琵琶湖固有種、外来種等 水槽展示と説明	琵琶博&ぼてじゃこ トラスト	魚(イチモンジタナゴ 等)、水槽、エアープ ンプ他、延長コード 等	20分 移動5分
② 水質調査	パックテスト COD、透視 度、透明度等の測定とき れいな水とは等説明	共立理化学	試薬、試料水、温度 計、透視度計等	20分 移動5分
③ プランクトン観察	ワークショップ形式、大津 港付近の水を顕微鏡で 確認できたプランクトンを 図鑑と照合しリストアップ	琵琶湖環境科学研 究センター	試料水、光学顕微 鏡、カメラ付顕微 鏡、スクリーン、プロ ジェクター、PC	20分 移動5分

④ オオバナミズキンバイ駆除活動紹介	特定外来生物の説明とその駆除活動、学生ボランティアの活動等紹介	IVUSA	説明はパネル or パソコンでプレゼン	15分
⑤ 琵琶湖展望	景色、水の色、南湖と北湖との違い、周りの山・川、瀬田川、洗堰、琵琶湖疏水、京都、大阪につながること等説明	昨年度ラムサールびわっこ大使の子ども達	拡声装置(晴天時オープンデッキに出る場合)	20分

3. タイムスケジュール案

時刻	プログラム	行動
8:15	滋賀、京都スタッフ集合	荷物の運び込み(ビアンカ試運転中(約10分)は乗下船ができない。前日準備も可能)
9:00	兵庫、大阪、奈良スタッフ集合	
9:20	受付開始	受付けは琵琶湖汽船浜大津港旅客ターミナル前広場に設置(施設管理者に許可必要と思われる、船内にはトイレが少ないためターミナルのトイレで済ますよう伝える必要あり) 図1
9:50	開会式	開会宣言(担当者未定)、実行委員長挨拶 乗船手順説明(担当者未定)
10:00	ビアンカ乗船	2F 乗船口より乗船し、3F Cloud <sup>1)</sup> 前方に集合
10:15	開会行事	3F Cloud 前方にて司会進行者挨拶 <sup>2)</sup> 、救命胴衣着用法説明(琵琶湖汽船のアナウンスを聞く、大人が着てみせる)、日程説明、参加団体紹介(20秒/団体、事前提供の写真映写、説明文を読み上げる)
10:35	活動発表会	2F Sunrise、Horizonにて、5会場に分かれ、発表7分、質疑、意見交換8分、最大5団体/会場、 進行:経験のある若手には進行を努めてもらい、補助にベテランと若手が付く 終了後、この後のスケジュールを簡単に説明
11:50	トイレ休憩	トイレは1、3、4Fにあるが、少ない(トイレ誘導係必要)
12:00	体験プログラム⑤	琵琶湖展望、4F Breeze、晴天時は4F オープンデッキに出る
12:20	昼食、自由時間	4F Breeze、3F Cloud 後部、4F オープンデッキ一部のスタッフで2F Sunrise、Horizonにて体験プログラムのセッティングをする→上記活動発表は壁際にて行い、体験プログラムは部屋中央部で行うことにより、混乱を避ける
12:55	体験プログラム①～③	25団体を3つに分け、20分ずつ順次廻る(移動5分) 各プログラム担当者は75分拘束 ①魚観察:2F Sunrise 右舷側 ②水質:2F Sunrise 左舷側

↑  
ビアンカ南湖を航行  
↓

具体的な場所は、ビアンカを下見した上で決定する

別紙

① プランクトン観察:2F Horizon		
14:05	トイレ休憩、移動	3F Cloud 前方に子ども達移動
14:15	体験プログラム④	3F Cloud 前方にて説明を受ける
14:30	交流会	3F Cloud 前方・後方にて3or5グループに分かれて話し合った後、全員 Cloud 前方に集合し全体で話し合う
15:30	情報提供、閉会式	3F Cloud 前方にて、各府県情報紹介(3分×5)、次回開催府県挨拶(3分)、閉会挨拶(担当者未定、3分)
15:55	下船	参加者解散、撤収作業
17:00	スタッフ解散	撤収作業完了